

第42回

全日本バトントワリング選手権大会

第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）

2017年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）

基本実施要項



一般社団法人 **日本バトン協会**
BATON TWIRLING ASSOCIATION OF JAPAN

目 次

第 4 2 回全日本バトントワーリング選手権大会

大会概要 大会日程 支部別出場枠数	3
実施規定 6 種目共通	6
審査規定 6 種目別	11

第 9 回 WBTF インターナショナルカップ

大会概要	18
日本代表選考 支部別出場枠数	21
実施規定	22
審査規定	30

2017 年 IBTF グランプリ大会

大会概要	35
日本代表選考	36
実施規定	37
審査規定	40

各種申込みについて	41
-----------	----

出場者の注意事項等	42
-----------	----

緊急対策	43
------	----

第42回 全日本バトントワーリング選手権大会 大会概要

名 称	第42回全日本バトントワーリング選手権大会
開催日程	2017年3月24日(金) 25日(土) 26日(日)
開催会場	いしかわ総合スポーツセンター [石川県金沢市稚日野町北222]
主 催	一般社団法人日本バトン協会 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室 TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864
特別協賛	株式会社フォトクリエイト
主 管	日本バトン協会北陸支部
競技種目	ソロトワール トゥーバトン スリーバトン ペア ソロストラット ダンストワール
主 旨	本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに全国各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

大会日程〔予定〕

3月24日（金）	9：30～20：00	開会式
3月25日（土）	9：15～20：00	
3月26日（日）	9：30～18：00	表彰式・閉会式

支部別出場枠数

（１）以下の通りすべて支部推薦とする。

（２）支部推薦種目の支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠（枠数の下線箇所）として1枠追加する。
- ③ 部門ごとの自由枠はソロトワールを6枠とし、開催地における支部は2枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、1部門2枠までの使用とする。

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計	
ソロトワール	女子	U-9(7～9才)	1	1	2	1	2	3	3	1	<u>4</u>	1	19
		U-12(10～12才)	1	1	3	1	2	2	2	1	<u>5</u>	1	19
		U-15(13～15才)	1	1	3	1	3	<u>4</u>	1	1	3	1	19
		U-18(16～18才)	1	1	3	2	6	2	1	1	<u>3</u>	1	21
		U-22(19～22才)	1	1	5	1	1	<u>6</u>	1	1	1	1	19
		0-23(23才以上)	1	1	<u>8</u>	1	2	2	1	1	1	1	19
	男子	JrU-12(7～12才)	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	13
		JrU-17(13～17才)	1	1	1	<u>2</u>	1	2	1	1	3	1	14
		Sr(18～22才)	1	1	2	1	1	3	1	1	5	1	17
		Ad(23才以上)	1	1	<u>3</u>	1	1	3	1	1	3	1	16
自由枠		6	6	6	8	6	6	6	6	6	6	62	
計		16	16	37	20	26	35	19	16	37	16	238	

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計	
ト ウ ワ ー バ ト ン	女子	U-12	1	1	2	1	1	1	<u>2</u>	1	4	1	15	
		U-15	1	1	1	1	2	2	1	<u>2</u>	4	1	16	
		U-18	1	1	2	1	2	2	1	1	<u>4</u>	1	16	
		0-19	1	1	4	1	2	3	1	1	1	1	16	
	男子	JrU-12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		JrU-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Sr	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Ad	1	1	<u>2</u>	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	自由枠		0	0	4	<u>3</u>	4	4	3	0	4	0	<u>22</u>	
	計		8	8	<u>18</u>	<u>11</u>	15	16	12	9	21	8	<u>126</u>	
ス リ ー バ ト ン	女子	U-12	1	1	<u>7</u>	1	2	2	1	1	2	1	19	
		U-15	1	1	2	1	3	1	1	1	<u>4</u>	1	16	
		U-18	1	1	<u>3</u>	1	1	2	1	1	2	1	14	
		0-19	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	13	
	男子	JrU-12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		JrU-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Sr	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Ad	1	1	1	1	1	<u>2</u>	1	1	1	1	1	11
	自由枠		1	0	5	<u>2</u>	4	5	3	0	4	0	<u>24</u>	
	計		9	8	24	<u>10</u>	15	<u>17</u>	11	8	17	8	<u>127</u>	
ペ ア	U-12	1	1	3	1	1	2	1	1	<u>4</u>	1	16		
	U-15	1	1	2	1	<u>3</u>	2	1	1	3	1	16		
	U-18	1	1	<u>3</u>	2	2	3	2	1	1	1	17		
	0-19	1	2	2	1	3	<u>7</u>	1	1	1	1	20		
	自由枠	1	2	4	<u>5</u>	4	4	3	2	4	0	<u>29</u>		
	計	5	7	14	<u>10</u>	13	18	8	6	13	4	<u>98</u>		

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロストラット	U-12	1	1	3	1	2	1	<u>2</u>	1	3	1	16
	U-15	1	1	3	1	2	<u>3</u>	1	1	3	1	17
	U-18	1	1	4	1	2	1	1	1	<u>4</u>	1	17
	0-19	1	1	2	1	3	<u>7</u>	1	1	1	1	19
	自由枠	1	3	4	4	4	4	3	0	4	0	27
	計	5	7	16	8	13	16	8	4	15	4	96
ダンストワール	U-12	1	1	2	1	2	1	1	1	<u>4</u>	1	15
	U-15	1	1	2	1	1	2	1	1	<u>5</u>	1	16
	U-18	1	1	<u>3</u>	1	2	2	1	1	4	1	17
	0-19	1	1	<u>6</u>	1	4	3	1	1	1	1	20
	自由枠	2	4	4	5	4	4	2	0	4	0	29
	計	6	8	17	9	13	12	6	4	18	4	97

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 出場者は支部大会より推薦されること。
- (3) 支部推薦種目
 [ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール]
 ① ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
 ② 同一選手の出場は6種目の中から2種目までとする。

2. 参加申し込み

- (1) 各支部より推薦された出場者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータと郵送で提出すること。
 ※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。
- (2) 参加費納入の〆切は、支部大会終了翌日より7日間以内とする。
 ※東北支部は、2016年12月16日(金)までとする。
- (3) 下記の種目別の参加費を、郵便局備え付けの青色の振込用紙にて〆切日までに指定口座へ納入すること。
 ① 参加申込書が事務局へ送付され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	8,000円
トゥーバトン	8,000円
スリーバトン	8,000円
ペア	12,000円 (1組)
ソロストラット	8,000円
ダンストワール	8,000円

参 加 費 申 込		
郵便振込み	口座番号	00180-9-790356
	口座名	一般社団法人日本バトン協会

3. 部門に関する規定

※未就学は含まない。

【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-9	7歳 (2010年4月1日) ~ 9歳 (2007年4月2日)
② 女子U-12	10歳 (2007年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
③ 女子U-15	13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日)
④ 女子U-18	16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日)
⑤ 女子U-22	19歳 (1998年4月1日) ~ 22歳 (1994年4月2日)
⑥ 女子O-23	23歳 (1994年4月1日) 以上
⑦ 男子JrU-12	7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
⑧ 男子JrU-17	13歳 (2004年4月1日) ~ 17歳 (1999年4月2日)
⑨ 男子Sr	18歳 (1999年4月1日) ~ 22歳 (1994年4月2日)
⑩ 男子Ad	23歳 (1994年4月1日) 以上

【トゥーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-12	7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
② 女子U-15	13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日)
③ 女子U-18	16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日)
④ 女子O-19	19歳 (1998年4月1日) 以上
⑤ 男子JrU-12	7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
⑥ 男子JrU-17	13歳 (2004年4月1日) ~ 17歳 (1999年4月2日)
⑦ 男子Sr	18歳 (1999年4月1日) ~ 22歳 (1994年4月2日)
⑧ 男子Ad	23歳 (1994年4月1日) 以上

【スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-12	7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
② 女子U-15	13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日)
③ 女子U-18	16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日)
④ 女子O-19	19歳 (1998年4月1日) 以上
⑤ 男子JrU-12	7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日)
⑥ 男子JrU-17	13歳 (2004年4月1日) ~ 17歳 (1999年4月2日)
⑦ 男子Sr	18歳 (1999年4月1日) ~ 22歳 (1994年4月2日)
⑧ 男子Ad	23歳 (1994年4月1日) 以上

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | | |
|---|------|-----------------------------------|
| ① | U-12 | 7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日) |
| ② | U-15 | 13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日) |
| ③ | U-18 | 16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日) |
| ④ | O-19 | 19歳 (1998年4月1日) 以上 |

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

【ソロストラット】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | | |
|---|------|-----------------------------------|
| ① | U-12 | 7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日) |
| ② | U-15 | 13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日) |
| ③ | U-18 | 16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日) |
| ④ | O-19 | 19歳 (1998年4月1日) 以上 |

※ 性別区分は行わない。

【ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | | |
|---|------|-----------------------------------|
| ① | U-12 | 7歳 (2010年4月1日) ~ 12歳 (2004年4月2日) |
| ② | U-15 | 13歳 (2004年4月1日) ~ 15歳 (2001年4月2日) |
| ③ | U-18 | 16歳 (2001年4月1日) ~ 18歳 (1998年4月2日) |
| ④ | O-19 | 19歳 (1998年4月1日) 以上 |

※ 性別区分は行わない。

4. 演技順に関する規定

(1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。

(2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部会にて決定する。

(3) グランプリ戦の演技順は、年齢の低い部門順とする。

5. 審査、順位に関する規定

(1) 審査委員長・審査副委員長

- ① 審査委員長1名、審査副委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員・ペナルティ審査員

- ① 審査員は、準決勝5名／決勝5名／グランプリ戦7名とする。
② ペナルティ審査員は、1名とする。

(3) 準決勝・決勝・グランプリ戦は次の通りとする。

- ① 準決勝上位8位までが決勝に進出する。
- ② 準決勝出場者が8名以下の場合は、準決勝を行わず決勝とする。
- ③ グランプリ戦は決勝の各部門1位が出場する。

(4) 準決勝／決勝とも順位の決定は次の通りとする。

- ① 審査員の評点（10点法小数点第2位まで）からペナルティ審査員の減点を差引き、審査員の得点とする。
- ② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計を集計する。

※準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計を集計する。

優先順2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。

優先順3 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。

優先順4 決勝において、1位が同位になった場合は1位のみ再演技を行い1位・2位を決定する。

④ 順位を掲示し、1位から8位までを入賞とする。

(5) グランプリの決定は次の通りとする。

- ① 審査員の投票を集計する。票数が同じ場合は同票者のみ決戦投票を行う。

6. 表彰に関する規定

(1) 出場者全選手に賞状を授与する。

(2) 各種目各部門共8位までを入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

(3) グランプリ受賞者（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）には、賞状及び日本バトン協会杯を授与する。

(4) 日本バトン協会杯は年度持ち廻りとする。

7. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット共通】

(1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【ダンストワール】

(1) 自由（小道具・帽子着脱は不可）

8. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- ③ 演技前にバトンのチェックを行う。
- ④ 演技スペースへタオル・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑤ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑥ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑦ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑧ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。
- ⑨ 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。

9. その他

- (1) 大会当日バトンのボールとティップのチェックを行います。
※詳細は3月にHPに掲載します「大会に関する諸注意とお願い」参照
- (2) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (3) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (4) 2010年度改訂6種目課題曲CD（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）2,160円を送料別にて販売します。
※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページをご確認下さい。
[<http://www.baton-jp.org/>]

【ソロトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 1名
- ② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） … Solo Special （約1分45秒）
- ⑤ 演技内容 … 1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
- イ) 3モード

{	エーリアル	[バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
	ロール	[バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
	コンタクト マテリアル	[バーティカル・フラット（ホリゾンタル）]
- ウ) エンディング（エンディング サリュートは自由）
 ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ 3モードのバランス／両手使い
- イ) ディフィカルティー
 - ・ バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスプレッション
 - ・ プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・ バトンの回転だけでなく、全体（3モード）を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
 （サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【トゥーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 1名
- ② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン2本
- ③ 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） … Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 … 2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) コンタクト マテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
- イ) ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
- ウ) ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
- エ) ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
- オ) ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
- カ) シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
- キ) コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン3本
- ③ 演技スペース …… 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲(時間) …… Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 演技内容 …… 3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
- イ) シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
- ウ) ジャグリング (片手による継続的なリリースとキャッチ)
- エ) ダブルトス — シングルトス
(2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする)
- オ) ハイ ロー (高いエアーの下でトゥーバトンの技を行うこと)
- カ) スタックス (高いエアーの下に低いエアーを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う)
- キ) トリプルトス (3本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ シークエンスの広がりの変化、それらのミックス／両手使い／コンタクトマテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- イ) ディフィカルティー
 - ・ 密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エアーリアル

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの精密さ、安定度／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ エンターテインメント性／持続力&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
- ウ) デマンド
 - ・ 継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各1本）
- ③ 演技スペース ……横8m×縦8mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をするに価値がある。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／コーディネートーションの困難度

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ソロストラット】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース …… 横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） …… 栄光へのマーチ（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 …… マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

ア) イントロダクション	8拍
イ) ミリタリーストラット	32拍
ウ) プレゼンテーション	32拍
エ) フォワードモーション	96拍
オ) エンディング	16拍

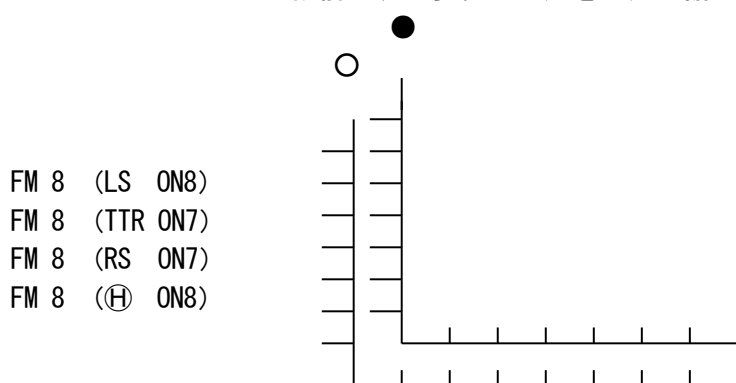
構成内容

ア) イントロダクション

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

イ) ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）

- ・足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中はずっと正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

- ウ) プレゼンテーション
 - ・自由に表現できるセクション

- エ) フォワードモーション
 - ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

- オ) エンディング
 - ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) イン트로ダクション・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- イ) プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ウ) フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ウ) アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は1拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

③ ペナルティ ※ペナルティ 審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ダンストワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース …… 横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） …… 輝きの時（約1分34秒）
- ⑤ 演技内容 …… バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) コレオグラフィー
 - ・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブベース／フロアの使い方・ステー징
- イ) バトンとダンスのブレンド
 - ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／**ダンスワークの質**／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

第9回 WBTF インターナショナルカップ 大会概要

名 称	第9回 WBTF インターナショナルカップ
主 旨	1978年、カナリー諸島において世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的とし、世界バトントワリング連合【WORLD BATON TWIRLING FEDERATION (WBTF)】が設立され、1980年にアメリカ・シアトルで「第1回世界バトントワリング選手権大会」を開催。2005年からは加盟国及び未加盟国へのさらなる競技バトンの普及を図るため「WBTF インターナショナルカップ」を新設。「世界バトントワリング選手権大会」との隔年開催により、芸術スポーツとしてのバトントワリング競技の確立と普及、さらにはオリンピックへの正式種目を最大の目標として発展を目指しています。
開催日程	2017年 8月 9日(水) ~ 13日(日) [予定]
開催場所	クロアチア共和国ポレッチ市
主 催	世界バトントワリング連合 (WBTF)
参加国 (予 定)	WBTF 加盟26カ国 アメリカ、アイルランド、イタリア、イングランド、インド、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、クロアチア共和国、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ブラジル、ベルギー、ロシア、南アフリカ
競技種目	ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール・アーティスティックペア・フリースタイルチーム・ グループ
年齢区分	年齢区分は2017年8月31日時点での年齢を示す。 ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン アーティスティックトワール／アーティスティックペア ジュニア 12歳(2005年8月31日)～17歳(1999年9月1日) シニア 18歳(1999年8月31日)～21歳(1995年9月1日) アダルト 22歳(1995年8月31日)以上 フリースタイルチーム／グループ 最低年齢は12歳とする。

<第9回 WBTF インターナショナルカップ競技概要>

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
ソロワール	(男女別) ジュニア 12才 ~17才 シニア 18才~21才 アダルト 22才~	課題曲 1分 44 秒	エリートレベル男女各6名	4.5m × 6m四方
トゥーバトン		課題曲 1分 29 秒	エリートレベル男女各6名	
スリーバトン		課題曲 1分 29 秒	エリートレベル男女各6名	
アーティスティック トワール		課題曲 1分 44 秒	エリートレベル男女各6名	縦 6m × 横 12m
アーティスティック ペア	性別区分なし ジュニア 12才~17才 シニア 18才~21才 アダルト 22才~	課題曲 1分 44 秒	エリートレベル 各6組	縦6m × 横 12m
フリースタイル チーム	性別区分なし ・12歳以上 [6名~8名] 補欠は2名まで	自由曲 2分 50 秒 ~3分 40 秒	エリートレベル 3チーム	縦 15m × 横 25m
グループ	性別区分なし ・12歳以上 [10名以上] 補欠は2名まで		3グループ	

日本代表選手の参加について

- ① WBTF インターナショナルカップの主旨を考慮し、エリートレベルにのみ参加します。
- ② **グループ種目については、第9回 WBTF インターナショナルカップから参加します。**

第9回 WBTF インターナショナルカップ 日本代表選考（同時審査）

選考日程	2017年3月24日(金) 25日(土) 26日(日) 「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」同日日程
選考会場	いしかわ総合スポーツセンター
主催	一般社団法人日本バトン協会 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室 TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864
特別協賛	株式会社フォトクリエイト
主管	日本バトン協会北陸支部
競技種目	ソロトワール トゥーバトン スリーバトン アーティスティックトワール アーティスティックペア フリースタイルチーム グループ

エントリーと支部別出場枠数

- (1) 以下の通りすべて支部推薦とする。
- (2) ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトンのエントリーは、「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「第9回 WBTF インターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手とする。

(3) 支部推薦種目の支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、1部門2枠までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計	
アーティスティックトワール	女子	Jr	1	1	20	2	6	17	3	1	9	1	61	
		Sr	1	1	12	1	5	9	1	1	11	1	43	
		Ad	1	1	1	1	8	3	3	1	1	5	1	23
		自由枠	1	1	3	1	3	3	2	1	3	0	18	
	男子	Jr	1	1	2	1	1	2	1	1	1	6	1	17
		Sr	1	1	1	3	1	3	1	1	1	1	1	14
		Ad	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		自由枠	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	0	5
計		7	7	41	11	25	40	10	7	37	6	191		
アーティスティックペア	Jr	1	2	6	5	5	6	5	1	8	1	40		
	Sr	2	1	2	1	4	4	1	1	2	1	19		
	Ad	1	1	3	1	6	3	1	1	3	1	21		
	自由枠	1	1	3	1	3	3	1	1	3	0	17		
	計	5	5	14	8	18	16	8	4	16	3	97		
フリースタイルチーム		1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	14		
	自由枠	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	14		
	計	2	2	3	3	3	7	2	2	2	2	28		
グループ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20		
	自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10		
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30		

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 出場者は支部大会より推薦されること。
- (3) エントリーと支部推薦種目
 - ① アーティスティックペア／フリースタイルチーム／**グループ**のメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。
 - ② ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトンは、「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「第9回 WBTF インターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手の中から当協会の手順により日本代表を選出する。
- (4) 出場者は、パスポートの国籍が日本であること。

2. 参加申し込み

- (1) 各支部より「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」に推薦された出場者で「第9回 WBTF インターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーする選手は参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータと郵送で提出すること。
※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。
- (2) 参加費納入の〆切は、支部大会終了翌日より7日間以内とする。
※東北支部は、2016年12月16日（金）までとする。
- (3) エントリー方法
 - ① ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／アーティスティックトワール／アーティスティックペア／フリースタイルチーム／**グループ**の中から**3種目まで**エントリーできる。
- (4) 下記の種目別の参加費を、郵便局備え付けの青色の振込用紙にて〆切日までに指定口座へ納入すること。
 - ① 参加申込書が事務局へ送付され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 - ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	1,000円
トゥーバトン	1,000円
スリーバトン	1,000円
アーティスティックワール	8,000円
アーティスティックペア	12,000円 1組
フリースタイルチーム/グループ	40,000円 1組

参加費申込		
郵便振込み	口座番号	00180-9-790356
	口座名	一般社団法人日本バトン協会

3. 部門に関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

男女共通

- ① ジュニア部門 —— 12歳～17歳
- ② シニア部門 —— 18歳～21歳
- ③ アダルト部門 —— 22歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。
 ※全日本選手権6種目とは年齢区分が違います。

【アーティスティックワール】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

男女共通

- ① ジュニア部門 —— 12歳～17歳
- ② シニア部門 —— 18歳～21歳
- ③ アダルト部門 —— 22歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。

【アーティスティックペア】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門

- ① ジュニア部門 —— 12歳～17歳
- ② シニア部門 —— 18歳～21歳
- ③ アダルト部門 —— 22歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。

※1名の補欠を用意することが出来る。

※混合ペアのみ、男子1名・女子1名の補欠を用意することが出来る。

【フリースタイルチーム】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

12歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。

※6名以上8名以内とし、2名の補欠を用意することが出来る

【グループ】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

12歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。

※10名以上とし、2名の補欠を用意することが出来る

4. 演技順に関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／フリースタイルチーム／グループの演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 本選の演技順は予選の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部会にて決定する。

5. 選考に関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン】

- (1) 「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「第9回 WBTF インターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーしている選手の中から当協会が次の手順により選出する。

※決勝進出者は決勝または準決勝の高い方を得点とし、準決勝のみの選手は準決勝の得点で集計する。

- ① 審査員の評点からペナルティ審査員の減点を差引き、得点とする。
- ② 全審査員の得点の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
- ③ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順 1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。
優先順 2 全審査員の投票により決定する。

※「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」と年齢区分が異なるため部門順位と異なる場合がある。

【アーティスティックトワール／アーティスティックペア】

- (1) 審査委員長・審査副委員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。
 - ① 審査委員長 1名、審査副委員長 1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 審査員——5名
- (2) 選考は次の通りとする。
 - ① 10点法（少数第2位まで）により採点し、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
 - ② 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順 1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。
優先順 2 審査員の投票により決定する
 - ③ 出場者数により、予選、本選を行う場合がある。

【フリースタイルチーム／グループ】

- (1) 審査委員長・審査副委員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。
 - ① 審査委員長 1名、審査副委員長 1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 審査員——7名
 - ③ 審判員——1名以上
- (2) 選考は次の通りとする。
 - ① 100点法（小数点第1位まで）により採点し、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
 - ② ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。
 - ③ 違反があった場合は、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。
 - ④ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順 1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。
優先順 2 審査員の投票により決定する。
 - ⑤ 予選・本選は次の通りとする。
 - ア) 参加チームが3チーム以下の場合は予選を行わず本選とする。
 - イ) 予選上位得点の3団体までが本選に進出する。

6. 認定数に関する規定

ソロトワール トゥーバトン スリーバトン アーティスティックトワール ※エリートレベル	女子	Jr	6名
		Sr	6名
		Ad	6名
	男子	Jr	6名
		Sr	6名
		Ad	6名
アーティスティックペア ※エリートレベル		Jr	6組
		Sr	6組
		Ad	6組
フリースタイルチーム ※エリートレベル			3団体
グループ			3団体

【WBTFインターナショナルカップ参加について】

- (1) WBTFインターナショナルカップ参加に要する各出場者の経費は各参加者の負担とする。
- (2) ジュニア選手は引率コーチが必ず同行すること。
- (3) 日本代表選手が止むを得ぬ事由で出場不可能となった場合、各種目次点選手が大会出場の認定を受けることができる。但し、**変更期日は2017年4月13日(木)までとする。**

7. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン共通】

- (1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【アーティスティックトワール／アーティスティックペア共通】

- (1) **スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。**

【フリースタイルチーム】

- (1) 髪飾りは可。
- ① 飾りは完全に髪についていなければならない。
 - ② 帽子の着用は禁止
- (2) コスチュームの色・デザインは自由。
- ① ワンピースのレオタード
 - ② ワンピースのレオタードにスカートがついた物
 - ③ ワンピースのレオタードにズボン／パンツがついた物
又はユニタード（オールタイツ）
- 女性
- ④ ロングパンツ
 - ⑤ ユニタード（オールタイツ）
- 男性
- ①～⑤の中から2種類を選ぶことができる
男女混合の場合：女性は①②③の中から、男性は④⑤の中から1つずつ
女子の場合：①②③の中から2つ
男子の場合：①②の2つ

【グループ】

- (1) スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

8. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、ペア及びフリースタイルチームに関しては、演技者全員が同じ色を使用すること。
- ③ 演技前にバトンのチェックを行う。
- ④ 演技スペースへタオル・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑤ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑥ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑦ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑧ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。
- ⑨ 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。

(2) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／フリースタイルチーム ／グループ共通

- ① 演技者が演技スペースへ持ち込めるバトンの数は、1人1本とする。

9. 著作権について

フリースタイルチーム／グループ共通

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません

（1）音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接著作権を持っている出版元に音楽使用許諾を行ってください。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となります。

尚、著作権は著作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせ下さい。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おき下さい。

（2）大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。

① 条件なしで許諾された

○版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- ① 著作権所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

* 著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送です。

録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して
参加申込み締切日までに送付のこと

10. その他

- (1) 大会当日バトンのボールとティップのチェックを行います。
※詳細は3月に参加団体へ送付する「大会に関する諸注意とお願い」参照
- (2) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (3) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (4) 2014年度改訂WBTF課題曲CD（ショートプログラム／アーティスティックワール／アーティスティックペア）1,080円を送料別にて販売します。

※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページをご確認ください。

[<http://www.baton-jp.org/>]

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 第42回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする。

(2) 審査内容

- ① 第42回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする。

【アーティスティックトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 1名
- ② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース … 横12m×縦6mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある。
- ④ 演技曲（時間） … 課題曲（約1分44秒）

(2) 審査内容

- ① 技術
- ア) テクニック
- イ) スピード
- ウ) 3モード(エアーリアル・ロール・コンタクトマテリアル)のバラエティー・ディフィカルティー
- エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
- オ) ディフィカルティー
- カ) クリアネス&シュアネス
- ② 芸術
- ア) ジェネラルコンテンツ
- イ) ビジュアルミュージカルティー
- ウ) 空間の利用度
- エ) チェンジオブペース
- オ) スキルの要求度
- カ) 演技の優秀さ
- キ) 正確さ
- ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

【アーティストックペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 2名
- ② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン2本（各1本）
- ③ 演技スペース … 横12m×縦6mの広さを目安とする
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある。
- ④ 演技曲（時間） … 課題曲（約1分44秒）

(2) 審査内容

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクスチェンジ
 - ウ) 移動しながらのバントワリング
 - エ) 両手使い
- ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) ペアワーク
- ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

【フリースタイルチーム】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……6名から8名
- ② 演技に使用するバトン…レギュラーバトン6本から8本(各1本)
- ③ 演技スペース ……横25m×縦15mの広さを目安とし、**競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印を付ける。**
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある
- ④ 演技曲(時間) ……自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択しCDに録音し事前に送付すること。CDには、種目・部門・曲の長さ(計時)・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技曲のスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までとする。
音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れても良いが、計時には含めない
3分以上3分30秒以内(過不足10秒可)とする
- ⑤ 入退場について ……原則として、演技者は、チーム名をアナウンスされてから審査より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲(音楽)無しで行うこと

(2) 審査内容

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクスチェンジ
 - ウ) 移動しながらのバントワーリング
 - エ) 両手使い
 - ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) チームワーク
 - ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナルリズム(リカバリー能力、チームの責任)
- ※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

【グループ】

【種目の概要説明】

グループ種目における重要ポイントとは、エフェクト（効果）の完成度と明確さ。これを達成するには、フォーメーション、構図、パターン、移動時の動作など、メンバー全員がスキルレベルを同様に習得している事が求められる。これらの技術を基礎とし、音楽表現、テーマ、キャラクターやストーリーをビジュアルエフェクト（視覚的效果）として表現する。

振り付けは自由に行う事が出来、フリースタイルチーム種目のように必要とされる内容を演技に組み込まなくてはならないと言う制約はない。また、演技で使用するスキルをより深く掘り下げるより、ユニゾン（協調性）が重要である。それに伴って演技の明確さや視覚的な主張が大切で、よりエンターテインメント性に富んだ演技種目。

（１） 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 10名以上
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン（各自1本）
- ③ 演技スペース …… 横25m×縦15mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある
- ④ 演技曲（時間） …… 自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、CDに録音し、事前に送付すること。CDには、種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない
3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする
- ⑤ 入退場について …… 原則として、演技者は、グループ名をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと

（２） 審査内容

- ① 全体的効果 40%
 - ア) 最重要点は、完成度の高さ。
 - イ) 音楽を生かしたキャラクター、一人一人の役割、個性、グループのスタイル
 - ウ) 論理性や信頼性に基づく、優秀な演技
 - エ) グループならではの幅広く多彩な効果、引き付ける魅力
 - オ) 全体を通してムード、芸術性、視聴覚の一致の維持
 - カ) フロアの利用、列、タイミング、空間の利用
- ② コレオグラフィー 30%
 - ア) プログラムコンセプトの優秀さ（テーマの展開）
 - イ) 作品のドラマチックさと、計算されたバトン・ボディワーク・ステージング・フォーメーションの展開の質
 - ウ) 時間やレイヤー（いくつかのパーツの重なりや層）を用いたデザインと構成の質

③ バトン 15%

- ア) 演技者のレベルに見合ったトワーリング素材
- イ) バトンとボディワークのコンビネーション
- ウ) 全員によるバトン熟練度の達成
- エ) 素材の十分なトレーニング
- オ) マスター度

④ ボディ 15%

- ア) 演技者のレベルに見合ったボディワーク素材
- イ) ボディワークとバトンのコンビネーション
- ウ) 全員によるボディワーク熟練度の達成
- エ) 素材の十分なトレーニング
- オ) マスター度

<技術内容の禁止事項>

スピン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・ 2スピン…スタンダードリリースとレセプション。(※1)ボディの禁止事項なし。
エアリアル ジムナスティック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス & トラベリング コンプレックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ トスの下で、メジャーボディムーブ(※2)は1回。その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・ その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンティニューアスフロントネックロール(手の有無に関係なく)禁止。 ・ フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・ モンスターロール(パーシャルも完成形も)禁止。
コンタクトマテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 禁止事項なし。

詳細：(※1)スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

(※2)メジャーボディムーブとは、イルージョン・ウォークオーバー(前・後)・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

2017年 IBTF グランプリ大会 大会概要

名 称	2017年 IBTF グランプリ大会
主 旨	バトントワーリングの世界的普及と発展を目指して、ナショナルバトントワーリング協会世界連合（WFNBTA）と世界バトントワーリング連合（WBTF）は、新たな国際組織「国際バトントワーリング連盟（International Baton Twirling Federation [IBTF]）」を設立することになりました。共同事業として、両組織の優れた選手たちが一堂に集い、友好を深め、技を競う2017年IBTF グランプリ大会を開催します。
開催日程	2017年8月 4日(金) ～ 6日(日) [予定]
開催場所	クロアチア共和国ポレツチ市
主 催	国際バトントワーリング連盟（IBTF）
参加国 (予定)	アメリカ、アイルランド、イタリア、イングランド、ウクライナ、オーストラリア、オランダ、カナダ、クロアチア共和国、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、セルビア、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、プエルトリコ、ブルガリア、フランス、ブラジル、ベルギー、ポーランド、ルーマニア、ロシア、南アフリカ
競技種目	ソロトワール／トゥーバトン／フリースタイルチーム
レ ベ ル	全種目1レベル

<2017年 IBTF グランプリ大会競技概要>

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
ソロトワール	(男女別) ジュニア 13才～17才	課題曲 2分	男女 各6名	4.5m×6m四方
トゥーバトン	シニア 18才～21才 アダルト 22才～	課題曲 1分45秒	男女 各6名	
フリースタイル チーム	性別区分なし 13歳以上 [6名～8名] 補欠は2名まで	自由曲 2分20秒 ～3分40秒	2チーム	縦 15m×横 25m

※WBTF 又は WFNBTA に加盟する協会が国内にいずれか1協会の場合、ソロトワール／トゥーバトンは各部門6名、フリースタイルチームは2チーム選出することが出来る。

※ソロトワール／トゥーバトンの課題曲は WBTF オフィシャルサイトよりダウンロード出来ます。

2017年
IBTF グランプリ大会
日本代表選考（同時審査）

選考日程 2017年3月24日(金) 25日(土) 26日(日)
 「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」同日日程

選考会場 いしかわ総合スポーツセンター

主 催 一般社団法人日本バトン協会
 〒110-0015
 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室
 TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864

特別協賛 株式会社フォトクリエイト

主 管 日本バトン協会北陸支部

競技種目 ソロトワール
 トゥーバトン
 フリースタイルチーム

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 出場者は支部大会より推薦されること。
- (3) エントリーと支部推薦種目
 - ① 同一選手の複数のエントリーは2種目までとする。
 - ② フリースタイルチームのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。
 - ③ ソロトワール／トゥーバトン「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で「2017年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手の中から当協会の手順により日本代表を選出する。
- (4) 出場者は、パスポートの国籍が日本であること。

2. 参加申し込み

- (1) 各支部より「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」に推薦された出場者で「2017年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）」にエントリーする選手は、参加申込用紙に必要事項を記入し、登録団体毎にデータと郵送で提出すること。
※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい
- (2) 参加費納入の〆切は、支部大会終了翌日より7日間以内とする。
※東北支部は、2016年12月16日（金）までとする。
- (3) エントリー方法
 - ① ソロトワール／トゥーバトン／フリースタイルチームの中から2種目までエントリーできる。
- (4) 下記の種目別の参加費を、郵便局備え付けの青色の振込用紙にて〆切日までに指定口座へ納入すること。
 - ① 参加申込書が事務局へ送付され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 - ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ③ エントリー申込み締め切り後の変更は不可とする。
 - ④ 参加に要する各出場者個々の経費は、各出場者の負担とする。

ソロトワール	1,000 円	
トウーバトン	1,000 円	
フリースタイルチーム	1,000 円	1 組

※フリースタイルチームのグランプリ大会日本代表選考のみの参加は 40,000 円とする。

— 参 加 費 申 込 —		
郵便振込み	口座番号	00180-9-790356
	口座名	一般社団法人日本バトン協会

3. 部門に関する規定

【ソロトワール／トウーバトン】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

男女共通

- ① ジュニア部門 **13 歳** (2004 年 8 月 31 日)～17 歳 (1999 年 9 月 1 日)
- ② シニア部門 18 歳 (1999 年 8 月 31 日)～21 歳 (1995 年 9 月 1 日)
- ③ アダルト部門 22 歳 (1995 年 8 月 31 日)以上

※2017年8月31日時点での年齢を示す。
 ※全日本選手権6種目とは年齢区分が違います。

【フリースタイルチーム】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

13 歳以上

※2017年8月31日時点の年齢を示す。
 ※6名以上8名以内とし、2名の補欠を用意することが出来る

※**グランプリ大会は13歳以上**となっています。
 インターナショナルカップのフリースタイルチームは12歳以上です。ご注意ください。

4. 選考に関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン】

(1) 「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「2017年IBTF グランプリ大会日本代表選考(同時審査)」にエントリーした選手の中から当協会が次の手順により選出する。

※決勝進出者は決勝または準決勝の高い方を得点とし、準決勝のみの選手は準決勝の得点で集計する。

- ① 審査員の評点からペナルティ審査員の減点を差引き、得点とする。
- ② 全審査員の得点の最高点・最低点を除いた得点合計を集計する。
- ③ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計を集計する。
優先順2 審査員の投票により決定する。

※ソロトワールとトゥーバトンは「第42回全日本バトントワーリング選手権大会」と年齢区分が異なるため部門順位と異なる場合がある。

【フリースタイルチーム】

第9回WBTF インターナショナルカップ日本代表選考(同時審査)と同時に行い、上位2チームを日本代表として決定する。

5. 認定に関する規定

ソロトワール	女子	Jr	6名
		Sr	6名
		Ad	6名
トゥーバトン	男子	Jr	6名
		Sr	6名
		Ad	6名
フリースタイルチーム			2団体

【IBTF グランプリ大会参加について】

- (1) IBTFグランプリ大会参加に要する各出場者の経費は各出場者の負担とする。
- (2) ジュニア選手は引率コーチが必ず同行すること。
- (3) 日本代表選手が止むを得ぬ事由で出場不可能となった場合、各種目次点選手が大会出場の認定を受けることができる。但し、**変更期日は2017年4月13日(木)まで**とする。

6. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン】 【フリースタイルチーム】

* 第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 実施規定に準ずる

7. バトン、その他に関する規定

* 第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 実施規定に準ずる

8. 著作権について

【フリースタイルチーム】

* 第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 実施規定に準ずる

9. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

審査規定	種目別
------	-----

【ソロトワール／トゥーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 第42回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする

(2) 審査内容

- ① 第42回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする

【フリースタイルチーム】

(1) 演技に関する規定

- ① 第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 審査規定に準ずる

(2) 審査内容

- ① 第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 審査規定に準ずる

各種申し込みについて

(1) 課題曲

- ① 2010年度改訂6種目課題曲 CD 2,160円を送料別にて販売します。
[ソロトワール/トゥーバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット/ダンストワール]
 - ② 2014年度改訂WBTF課題曲 CD 1,080円を送料別にて販売します。
[ショートプログラム/アーティスティックトワール/アーティスティックペア]
- ※一般社団法人日本バトン協会ホームページより申込みください。 [<http://www.baton-jp.org/>]

(2) 入場券

- ① 参加者及び出場団体引率者以外は、全員入場券を必要とする。

2017年3月24日(金)	前売り	2,000円	当日	2,500円
2017年3月25日(土)	前売り	2,000円	当日	2,500円
2017年3月26日(日)	前売り	3,500円	当日	4,000円
三日間通し	前売り	5,000円	当日	なし

※プログラム別売り **700円**(税込) [大会会場にて販売]

※前売り入場券の購入方法は、後日ホームページに掲載。

※チケット前売り販売日程 2017年2月1日(水) ~ 3月23日(木) までとする。

※当日券は大会会場にて販売する。

※一度発行した入場券の返券及び再発行はしない。

出場者の注意事項等

■ 写真およびDVD撮影販売及び二次使用について

- ・演技中の写真撮影及びビデオ撮影は禁止です。
- ・写真およびDVDの撮影販売は、当協会指定業者が行う。
- ・写真およびDVDの著作権は、一般社団法人日本バトン協会に帰属する。
- ・二次使用については、該当団体の承諾のもと使用することとする。

■ 傷害保険について

- ・当協会にて、出演者・係員を対象に傷害保険に加入する。
- ・補償内容は「大会当日の会場到着時から会場出発時まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害保険については、各団体が任意でご加入下さい。

■ 選手及び引率者入館

- ・選手は“第42回全日本バトントワーリング選手権大会の通行証”と“一般社団法人日本バトン協会2016年度構成員ワッペン”を、引率者は“通行ID”を着装し、参加者用の入口から入館する。
- ・引率者は1名とし、選手10名につき1名の割合で追加することができる。
- ・通行証は、選手登録受付時に配布する。

■ 宿泊・弁当の斡旋について

[宿泊] 斡旋日 2017年3月23日(木)・24日(金)・25日(土)・26日(日)
斡旋場所 近隣のホテル

[弁当]	斡旋日	2017年3月24日(金)	昼食・夕食	[会場内渡し]
		25日(土)	昼食・夕食	[会場内渡し]
		26日(日)	昼食・夕食	[会場内渡し]
	代 金	一食 1,000円(税込)		

※詳しい内容は、後日ホームページに掲載。

緊急対策

1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始1時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあった場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会30分前に再度確認する。

3. 緊急事態発生の場合

(1) 火災発生の場合

- ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
- ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
- ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け本部に連絡する。
- ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
- ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。

(2) 地震の場合

- ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。
誘導にあたっては、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。

(3) けが人・病人発生の場合

- ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
- ② 各担当者は本部に通報する。
- ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
- ④ 救護所は、医務室に設置する。